

風ひかり作業所

大坪克也（風土計画一級建築士事務所）



これは社会福祉法人が運営する二つの障害者就労支援作業所の統合移転事業である。いずれも古い借家で、障害者の生活の場として共通の問題を抱えていた。しかし、一方は主に身体障害を持つ中年以上の年齢層、他方は自閉症や知的障害の若年層と状況は異なり、作業内容も前者は帳合・印刷、後者は石鹸・食品加工である。

これら状況を異にする作業所を統合することに問題はないか、仲間たちのコミュニケーションや精神的ストレス、作業の再編や生活の環境づくりなど課題は多い。そこで二つの作業所に他部署の職員を加えた総勢20名で計画ワークショップを行なった。計5回の検討の結果、現在の作業スタイルを可能な限りそのまま継承しつつ、仲間の交流を促す共通の時間と空間を設けることとなった。

敷地は広く建物配置の自由度は比較的高い。さまざまなパターンが検討された結果、駐車場の確保とすぐ傍を南北に走る道路からの見え方を優先して東向き南北方向の配置となった。田園風景へ

の馴染みも良いが、作業所SHOPのアピールや当作業所の存在自体を知ってもらおうというねらいもある。

内部についてはコアスタッフによる検討会へ場を移し、仲間個々人の実際の動きを想定した室形状や家具・設備の配置がくりかえし検討された。構造面では、ローコストが当初からの大きな課題であったため木造在来工法を採用し、林野庁県産木材利用助成制度の適用を受けるべく、使用木材と調達先の調整も行なった。

検討の成果は、仲間への報告会や通信誌、家族や支援者の「新作業所づくりの集い」で報告され、完成への期待感が高まって行った。移転後、劣悪な環境から解放され、仲間たちは新しい仕事場を喜んでいる。一方で、彼らへの公的支援の手は細るばかりである。社会の理解は先ず地域社会との触れ合いから、と、助成条件のひとつである地域への施設開放を実行するため、建物の公的な使われ方も具体的に計画されている。

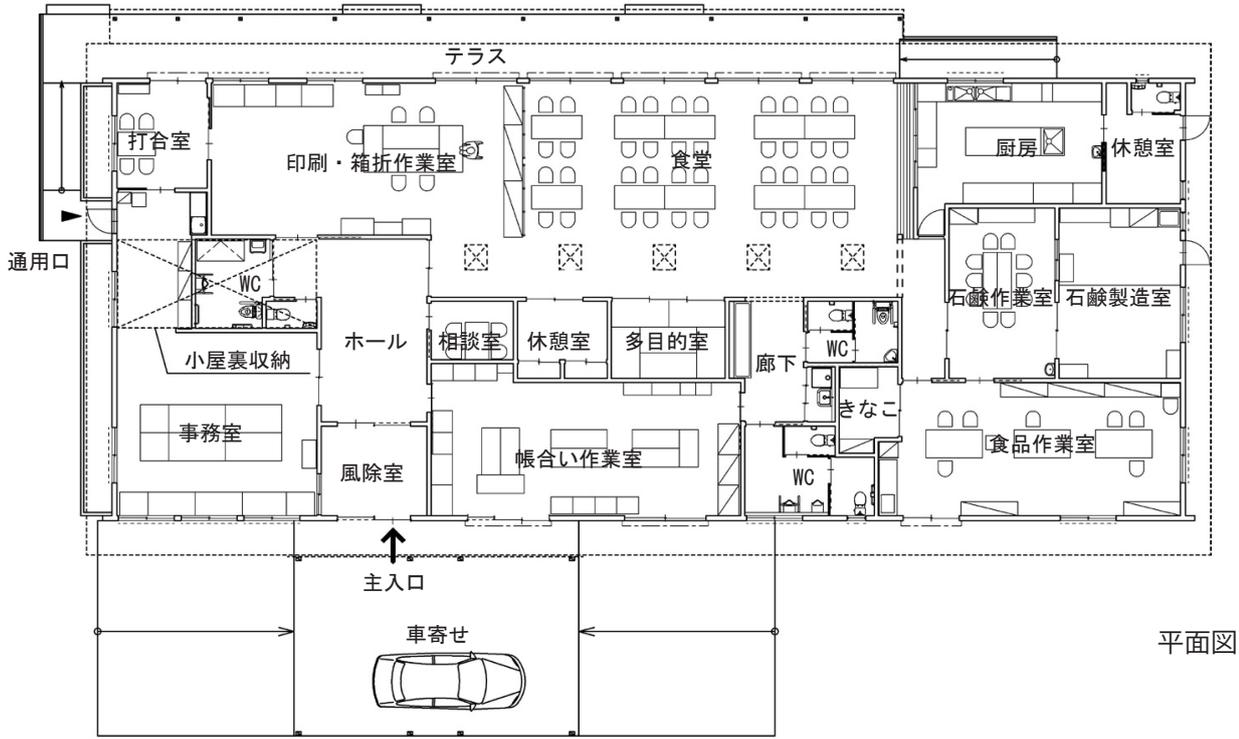


ワークショップの様子

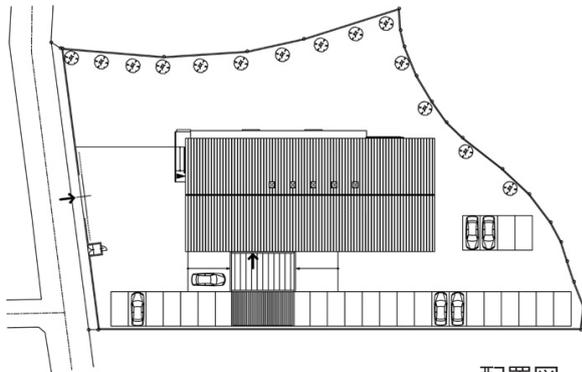
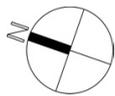


新作業所づくり集いの様子





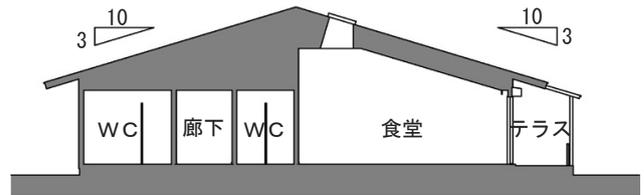
平面図



配置図



立面図



断面図

建物名称：風ひかり作業所
 所在地：福岡市早良区四箇4丁目
 用途：障がい福祉サービス事業所
 発注者：社会福祉法人 福岡ひかり会
 設計監理：建築 風土計画一級建築士事務所
 設備 有限会社シート設計社
 施工：株式会社山川工務店
 規模：構造 木造在来軸組工法
 階数 地上1階
 敷地面積 2537.63 m²
 建築面積 636.56 m²
 延床面積 579.70 m²

主な外部仕上げ：
 屋根 ガルバリウム鋼板瓦棒葺き
 外壁 窯業系防火サイディング貼り

主な内部仕上げ：
 床 フローリング張り
 内壁 石膏ボード+羽目板貼り
 天井 石膏ボード+羽目板貼り

設計期間：
 計画ワークショップ 2013年4月～2013年12月
 設計 2014年1月～2014年9月
 開発許可申請： 2014年5月～2014年9月
 施工期間： 2014年10月～2015年2月